



第 2 章
方針
事業報告

2015年度 董仙会方針

戦後70年を経過し、本格的に団塊の世代が高齢化を迎える今年度を、全国的に先行した『恵寿式地域包括ケアシステム』確立元年とする。地域でけいじゅヘルスケアシステムを選択してよかったというサービスの洗練と確立を目指す。

この中で、3月7日 徳充会事業としての高齢者複合施設・クリニックが竣工を迎える。本格参入する『住まい』と医療・介護・福祉部門の強い連携を望む。法人の形態も、国の流れを待つことなく、統合型医療～介護～福祉法人を目指していく。

継続的基本方針

1. 患者・利用者に信頼される医療機関・介護施設となる
2. 地域社会から必要とされる医療機関・介護施設となる
3. 経営の健全性を維持する

単年度方針

恵寿式地域包括ケアシステムを目指すために、今年は、『枠を越えよう!』、守られた中だけで未来はない。私たちは、私たちの常識の殻から抜け出す積極性が必要なのである。一つの部署から越えて、他部署、地域に出てチーム恵寿を展開する。

『枠を越えよう!』

恵寿フィロソフィの周知・浸透 特に、

- 第1部第2章 ものごとの本質を見究める
- 第2部第1章 一人ひとりが恵寿
- 第2部第2章 採算意識を高める
- 第2部第3章 心をひとつにパートナーシップを意識する
最高のバトンタッチ・情報を共有する
- 第2部第4章 燃える集団になる
強い持続した願望をもつ
- 第2部第5章 常に創造する
チャレンジ精神を持つ・見えてくるまで考え抜く

TQM センターテーマ登録・発表大会

■前期 第10回 2015年10月3日(土) サンビーム日和ヶ丘 多目的ホール

セッション1	部署	テーマ
『部署・施設間の枠を超えよう!』 優秀サークル 恵寿総合病院放射線課、 恵寿金沢病院放射線課 「X線撮影業務の標準化とレベル向上のための連携体制の構築(七尾⇄金沢)」	本部事務局 情報管理課、デマンド交通導入メンバー	ポータルサイトを利用した他部署とのコミュニケーション力向上
	恵寿居宅介護支援事業所「けいじゅ」、医療福祉相談課、地域連携課、看護部、ローレルハイツ恵寿	サ高住(家具付き5室)の効率的運用～稼働率90%を目指して～
	恵寿総合病院 医療安全管理部、情報管理部、看護部、栄養課、放射線課、薬剤課	感染・禁忌情報の整理～具体的な運用方法の確立～
	恵寿金沢病院 薬剤課、看護部	看護師と薬剤師の枠を超えた協働～安全で効率的な抗癌剤調製・投与を目指して
	恵寿総合病院 放射線課、恵寿金沢病院放射線課	X線撮影業務の標準化とレベル向上のための連携体制の構築(七尾⇄金沢)
セッション2	部署	テーマ
『新業務の取組み枠を超えよう!』 優秀サークル 恵寿総合病院 本館5階西、 6階西・東、けいじゅサービスセンター 「退院支援システムの構築に向けて～退院調整看護師の育成を目指して退院支援に挑戦!～」	本部事務局 総務課、情報管理課	給与明細のWeb化
	恵寿総合病院 本館5階西、6階西・東、けいじゅサービスセンター	退院支援システムの構築に向けて～退院調整看護師の育成を目指して退院支援に挑戦!～
	恵寿総合病院 本館4階東	高度治療室(ハイケアユニット;HCU)の包括的ケアシステムの構築
	恵寿総合病院 3病棟2階、恵寿ローレルクリニック	ローレルクリニックが母性の継続看護の拠点となる～新生児からおばあちゃん世代までの満足したかわわりを提供する～
	恵寿金沢病院 2階病棟北	患者・家族が安心して退院を迎えるために私達ができること

セッション3	部署	テーマ
『ブラッシュアップ 枠を超えよう!』	恵寿金沢病院	地域包括ケア病床稼働率 90%を目指す
	恵寿総合病院 本館 5 階東、5 病棟 3 階	がん化学療法看護師の育成 ～一人で抗がん剤投与を安全・安楽に実施できる～
	恵寿総合病院 臨床工学課	透析業務の見直しと運用の確立
	恵寿総合病院 臨床検査課	より良い外来業務を目指して ～生理機能検査、採血室業務～
優秀サークル 恵寿総合病院 「地域包括ケア病床稼働率90%を目指す」	恵寿総合病院 血液浄化センター、臨床工学課、恵寿ローレルクリニック	恵寿ローレルクリニック（血液浄化センター、クリニック）の協働を確立をする

■後期 第 11 回 2016 年 3 月 5 日（土） 七尾サンライフプラザ 大ホール

セッション1	部署	テーマ
『部署・施設間の 枠を超えよう①』	恵寿総合病院 看護部、医局	深部静脈血栓予防の標準化とその定着をはかる
	恵寿総合病院 健康管理センター 恵寿金沢病院 人間ドックセンター	連携による集客増を目指して 枠を超えて
	恵寿総合病院 内視鏡課、臨床工学課	～臨床工学課との協働体制を整える～
	和光苑、鶴友苑、恵寿鳩ヶ丘、 居宅介護支援	在宅復帰率向上と支援型への移行、強化型の模索 ～恵寿式地域包括ケアシステムを目指して～
優秀サークル 和光苑、鶴友苑、恵寿鳩ヶ丘、 居宅介護支援 「在宅復帰率向上と支援型への移行、 強化型の模索 ～恵寿式地域包括 ケアシステムを目指して～」	恵寿金沢病院 臨床検査課、放射線課	検査技師と放射線技師の協働 ～ドック エコー検査に関して、情報の共有と検査 統一化～

セッション2	部署	テーマ
『部署・施設間の 枠を超えよう②』	本部事務局	董仙会の BCP をまとめる ～恵寿総合病院の BCP・恵寿金沢病院の BCP・介護事業所の BCP～
	恵寿総合病院 外来、手術室、放射線課、 本館 4 階西	心カテ室運営の再構築 ～カテ室看護師の育成を目指して～
	恵寿総合病院 看護部管理室、 5 病棟 4 階・5 階、3 病棟 3 階	中国人看護師が今年中に一人で受持ち患者を持ちケア実践・展開できる
	恵寿総合病院 臨床栄養課	外来栄養指導体制の構築
優秀サークル 恵寿総合病院、5病棟5階、 リハビリテーション部、MSW 「地域包括ケア病棟の関わり ～退院支援から訪問看護への構築～」	恵寿総合病院 5 病棟 5 階、 リハビリテーション部、MSW	地域包括ケア病棟の関わり ～退院支援から訪問看護への構築～

セッション3	部署	テーマ
『新たな取り組み』	本部事務局、恵寿総合病院	外国人患者受入れ医療機関認証制度 (JMIP 認証) 取得までの取り組み
	恵寿総合病院 看護部管理室、3・5 病棟 棟師長・主任	2 交代制導入への取り組み
	恵寿総合病院 医事課、医療秘書課、 管理課、けいじゅサービスセンター	ISO 認証取得による経営サポート体制強化
	董仙会リハビリテーション部門	生活行為向上を目指した新しいプログラムの提案 ～医療・介護リハ分野の連携を拡大して～
優秀サークル 恵寿総合病院 看護部管理室、3・5病棟師長・主任 「2交代制導入への取り組み」	恵寿金沢病院 3 階病棟東	全身麻酔手術を受ける患者の記録の改善について

董仙会事業報告

- 2015/04/01 董仙会新任式（医師7名、初期臨床研修医7名、その他職員53名）
- 2015/04/01 恵寿総合病院 本館4階東病棟10床をHCU病棟に
- 2015/04/08 「中国人健診ツアー」の9名受入れ（恵寿総合病院）
- 2015/04/10 厚生労働省「宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）プログラム」試行事業採択（恵寿総合病院 健康管理センター）
- 2015/04/16 リハビリテーション科 運転シミュレーター導入（恵寿総合病院）
- 2015/04/29 恵寿総合病院本館花嫁のれん展示、GW期間中一本杉 Café オープン（けいじゅ一本杉）
- 2015/05/08 看護の日イベント「プチナス体験（西湊保育園）」を開催（恵寿総合病院 看護部）
- 2015/05/14 第4回医療連携の集い開催（恵寿総合病院 地域連携課）
- 2015/05/30 恵寿健康管理センター 人間ドック健診施設機能評価認定（恵寿総合病院）
- 2015/06/08 青山彩光苑・桶屋善一さん写真展「ようこそ、北陸新幹線をご利用の皆様も七尾市へ」開催（恵寿総合病院）
- 2015/06/13 市民公開講座 脳卒中のリハビリテーション（七尾サンライフプラザ）
- 2015/06/20 董仙会ボウリング大会「けいじゅクールビズ杯」を開催（コロナワールド金沢）
- 2015/06/22 理事会・評議員会
- 2015/07/01 リモートアクセスシステム導入（董仙会）
- 2015/07/01 恵寿 Happy Retirement Project としてシニアイノベーター募集開始（董仙会）
- 2015/07/07 中学生わく・ワーク体験受入れ（恵寿総合病院）
- 2015/07/07 認定看護師に4名が合格（恵寿総合病院・恵寿金沢病院）
- 2015/07/19 七尾港祭り 総踊り参加（七尾市御祓川大通り）
- 2015/08/04 高校生インターンシップ受入れ（恵寿総合病院）
- 2015/08/15 ローレルハイツ恵寿夏祭り（恵寿ローレルクリニック）
- 2015/08/17 聖路加国際病院ホームコンサートメンバーを招いて「第4回心のコンサート」開催（恵寿総合病院）
- 2015/08/25 「出前授業 in 七尾高校」を実施（本部事務局、臨床研修センター）
- 2015/08/26 がんサロンイベント 七尾市出身の落語家 月亭方気さんを招いて「恵寿ほっと寄席」開催（恵寿総合病院）
- 2015/09/03 前期 TQM 大会開催（サンビーム日和ヶ丘）
- 2015/09/11 創立 81 周年
- 2015/09/16 金沢市広告景観協力賞受賞（恵寿金沢病院）
- 2015/10/01 無料送迎サービス「楽のり君」運行開始（恵寿総合病院）
- 2015/10/08 和光苑が「石川県産業安全衛生大会」事業所（労働衛生）表彰を受ける（和光苑）
- 2015/10/13 「Keiju Innovation Hub」開所（恵寿総合病院）
- 2015/10/19 外国語版（英語・中国語）Web サイト開設（恵寿総合病院）
- 2015/11/02 「いしかわ支え合い駐車場」設置（恵寿総合病院）
- 2015/11/04 寄り合いどころ「一本杉 Café」オープン（けいじゅ一本杉）
- 2015/11/05 「地域交流会」を開催（いこい）
- 2015/11/07 職員旅行（五箇山、飛騨高山、小矢部）
- 2015/11/10 「高齢者体験学習 in 鳥屋小学校」を実施（ほのぼの）
- 2015/11/18 厚生労働省「宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）プログラム」実施（恵寿総合病院 健康管理センター）
- 2015/11/19 「出前授業 in 田鶴浜中学校」を実施（家庭医療科医師、臨床心理士）

- 2015/11/28 JAのとわかば主催 地元の野菜をおいしく食べよう！地場産クッキング・フェスタにて医療セミナー開催
(管理栄養士、言語聴覚士)
- 2015/12/11 BLS プロバイダーコース開催 (Keiju Innovation Hub)
- 2015/12/21 けいじゅヘルスケアシステム大忘年会開催 (和倉温泉 加賀屋)
- 2015/12/22 恵寿総合病院医師社宅新築
- 2016/01/01 介護老人保健施設「鶴友苑」が在宅強化型老健施設として認定
- 2016/01/04 けいじゅヘルスケアシステム新年互礼会・自衛消防隊出初式・成人式
- 2016/01/04 職員向け広報誌「董仙」発行開始
- 2016/01/19 恵寿総合病院事務部 ISO9001 (2008年版) 認証取得 (恵寿総合病院)
- 2016/02/02 董仙会本部事務局 ISO9001 (2008年版) 認証更新
- 2016/02/02 石川県産業創出支援機構主催「医療周辺機器開発ニーズ紹介セミナー」開催 (Keiju Innovation Hub)
- 2016/02/04 外国人患者受入れ医療機関認証制度 (JMIP) 取得 (恵寿総合病院)
- 2016/02/05 JA すずしにて医療セミナー開催 (恵寿総合病院 放射線技師)
- 2016/02/09 認知症ケア技術研修会開催 (介護事業統括部)
- 2016/03/05 後期 TQM 大会開催 (七尾サンライフプラザ)
- 2016/03/05 JA 内浦町にて医療セミナー開催 (恵寿総合病院 放射線技師)
- 2016/03/29 日本財団より福祉車両寄贈 (恵寿総合病院)
- 2016/03/30 理事会・評議員会
- 2016/03/31 董仙会「女性の職業生活における活躍の推進に関する行動計画」策定

徳充会事業報告

2015/04/01	辞令交付式・記念植樹
2015/04/01	ヘルパーステーションステーションローレル事業開始
2015/04/24	石川県福祉職員合同入職式
2015/05/12	金沢医科大学医療福祉体験実習 3名受入
2015/05/14	金沢医科大学医療福祉体験実習 4名受入
2015/05/21	第109回理事会・第50回評議員会開催
2015/05/30	七尾特別支援学校運動会に参加
2015/05/31	第15回石川県障害者スポーツ大会参加
2015/06/17	第19回能登地区ベタンク大会参加
2015/06/23	ふるさと石川合同企業説明会参加
2015/06/26	第11回七尾市障害者フライングディスク大会参加
2015/07/09	第39回全国身体障害者施設職員研究大会 参加
2015/07/10	県民一斉防災訓練（シェイクアウトいしかわ）実施
2015/07/19	七尾港まつり市民総踊り参加
2015/07/21~8/28	金沢大学総合臨床実習 1名 受入
2015/07/25	穴水ライフサポートセンター夏祭り
2015/07/26	エレガントたつのはま・もみの木苑合同納涼祭
2015/07/30~31	田鶴浜高校介護実習 受入6名
2015/08/03~07	ふれあいの里夏祭り
2015/08/06	石川精育園夏祭り
2015/08/06~07	大相撲七尾場所観覧
2015/08/07	青山彩光苑夏祭り
2015/08/12	なぎの浦合同納涼祭
2015/08/15	ローレルハイツ恵寿夏祭り
2015/08/17~20	田鶴浜高校介護実習 6名受入
2015/08/21	平成28年度職員採用試験
2015/08/23	福祉・介護の就職フェア（七尾サンライフプラザ）
2015/08/26	合同就職面接会参加
2015/08/30	福祉・介護の就職フェア（石川県産業展示館）
2015/09/11~12	職員交流会実施（和倉温泉能州）1回目
2015/09/12	人事考課者研修
2015/09/17	第34回全国社会福祉法人経営者大会参加
2015/09/26	青山彩光苑運動会
2015/09/27	福祉・介護の就職フェア（石川県産業展示館）
2015/09/28~29	東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会 2015 愛知大会参加
2015/09/29	ドラゴンゲートプロレス観戦
2015/09/30	石川県指導監査（石川県精育園）
2015/09/30	七尾市障害者高齢者風船バレーボール大会参加
2015/10/03	第10回七尾市健康福祉まつり参加
2015/10/07	青山彩光苑夜間防火訓練

2015/10/08~09	第30回中部ブロック身体障害者更生援護施設施設長協議会 参加
2015/10/11	石川県障害者ふれあいフェスティバル
2015/10/13	石川県監査委員監査
2015/10/22~27	第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」参加
2015/10/23	石川県指導監査（法人本部、セレーナ青山）
2015/10/27	石川県指導監査（ローレルハイツ恵寿）
2015/10/28	石川県指導監査（リハ、ライフ、支援センター、ワークセンター）
2015/10/29	平成28年度職員採用試験
2015/11/11~13	身体障害者リハビリテーション研究集会2015 参加
2015/11/14	第11回石川県ボッチャ大会
2015/11/14	七尾特別支援学校すみれ祭参加
2015/11/15	結成20周年記念「高階くれない太鼓交流会」
2015/11/18	接遇研修会実施
2015/11/20	ボランティア感謝の集い
2015/11/21	石川県風船バレーボール大会参加
2015/11/24	第110回理事会・第51回評議員会開催
2015/11/30	谷本石川県知事と社会福祉関係者との懇談会出席
2015/12/05	青山彩光苑障害者週間イベント2015開催
2015/12/06	谷本石川県知事夫妻と福祉施設に働く職員との交流会
2015/12/17	けいじゅ HCS 大忘年会
2015/12/17	のとしんボランティアーズ（青山彩光苑窓拭きボランティア）
2016/01/04	新年互礼会・成人式
2016/01/08~09	職員交流会実施（和倉温泉能州）
2016/01/16	普通救命講習会実施
2016/01/25~2/22	国際医療福祉専門学校臨床評価実習
2016/02/04	セーフティドライビングコンテスト達成式
2016/02/06	法人内事例研究大会 テーマ「挑戦～枠を越えて飛び出そう～」
2016/02/06	事業所対抗ボーリング大会（福利厚生委員会企画）
2016/02/17	のとしんボランティアーズ（青山彩光苑窓拭きボランティア）
2016/03/06	福祉・介護の就職フェア（石川県地場産振興センター）
2016/03/12	ふるさと就職フェアいしかわ（石川県産業展示館）参加
2016/03/13	のと就職フェア（七尾サンライフプラザ）参加
2016/03/24	第111回理事会・第52回評議員会開催
2016/03/29~30	平成28年度新人職員研修会
2016/03/30	平成28年度新人職員歓迎会

メディア掲載

2015/04/01	となりのテレ金ちゃん 恵寿総合病院新任式（テレビ金沢）
2015/04/01	恵寿総合病院 施設の空撮開始（北國新聞）
2015/04/02	恵寿総合病院新任式（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/04/08	広がる地域包括ケア病棟（北陸中日新聞）
2015/04/11	宿泊型新保健指導（スマート・ライフ・ステイ）プログラム採択（北國新聞）
2015/04/16	がん患者サロンイベント告知 恵寿総合病院（朝日新聞）
2015/04/17	中国人看護師研修 恵寿総合病院（北陸中日新聞）
2015/04/19	医いづる国 Q&A ④「存在感増す家庭医・総合医」（日本経済新聞）
2015/05/01	恵寿総合病院創立 80 周年プロジェクト本館掲載（建築ジャーナル）
2015/05/09	プチナース・ふれあい看護体験（北國新聞）
2015/06/09~10	恵寿総合病院で桶屋善一さん写真展「ようこそ、北陸新幹線をご利用の皆様も七尾市へ」（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/06/14	恵寿総合病院 市民公開講座（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/06/18	和光苑 踊りのボランティア（希愁の会）慰問（北國新聞）
2015/06/19	HIV 感染発生状況 恵寿金沢病院 上田病院長インタビュー（北國新聞）
2015/06/20	恵寿総合病院 桶屋善一さん企画展でバリアフリー状況リポート（読売新聞）
2015/06/25	けいじゅヘルスケア、仮想システム（日本経済新聞）
2015/07/02	シニアイノベーター、けいじゅデリカサプライセンター恵寿金沢病院へ配膳開始（北國新聞）
2015/07/09	恵寿健康管理センター 人間ドック健診施設機能評価認定（北國新聞）
2015/07/19	リモートアクセスシステム（北陸中日新聞）
2015/07/10~12	恵寿総合病院 中学生職場体験（わく・ワーク体験）（北國新聞・読売新聞）
2015/07/16	医療・介護最前線リポート 恵寿健康管理センター 倉知センター長インタビュー（日経産業新聞）
2015/07/21	フットサル 恵寿 FC 七尾・2015 里山大会優勝（北國新聞）
2015/07/31	恵寿総合病院 首都圏の定年退職者採用（恵寿ハッピーリタイアメントプロジェクト）（日本経済新聞）
2015/08/07	七尾高校インターンシップ受入れ（北國新聞）
2015/08/18~21	第 4 回心のコンサート（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/08/21	恵寿ほっと寄席告知（北陸中日新聞）
2015/08/26	「出前授業 in 七尾高校」（北國新聞）
2015/08/27	恵寿ほっと寄席（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/08/27	恵寿総合病院「看護外来」開設（北國新聞）
2015/09/01	金沢学院大・短大プログラム 「健康長寿のための栄養学」トークセッション告知 パネラー 神野理事長（北國新聞）
2015/09/02	七尾鹿島防火協会 防火優良事業所・従業員表彰 （恵寿総合病院 大山晴美、青山彩光苑 長坂哲行）（北國新聞）
2015/09/16	恵寿総合病院 会員制患者送迎サービス「楽のり君」導入（日本経済新聞・北國新聞）
2015/09/16	恵寿総合病院 各地で 100 歳お祝い（北國新聞）
2015/09/17	恵寿金沢病院 金沢市広告景観協力賞受賞（北國新聞）
2015/09/20	金沢学院大・短大プログラム 「健康長寿のための栄養学」開催 トークセッション パネラー神野理事長（北國新聞）
2015/09/27	周産期医療支援機構 第 1 回 ALSO-Japan 学術集会（北國新聞）
2015/10/02	恵寿総合病院 第 50 回恵寿音楽喫茶（北國新聞）

2015/10/14	恵寿総合病院「Keiju Innovation Hub」開設（北國新聞）
2015/10/23	臨床研修病院「マッチング」結果公表（北國新聞）
2015/10/29	石川県老人保健施設大会 功労職員表彰 （和光苑 道下真須美、恵寿鳩ヶ丘 鶴田民子、鶴友苑 升屋礼子）（北國新聞）
2015/11/01	厚生労働省「輝け！介護の星（連載 第8回）」和光苑 齋藤美穂さん（厚生労働）
2015/11/05	けいじゅ一本杉「寄り合いどころ 一本杉 Café」開設（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/11/20	病院キャラクターコレクション「Keiju ぼっぼ」紹介（エキスパートナーズ）
2015/11/20	「出前授業 in 田鶴浜中学校」実施（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/11/29	JA 能登わかば 地場産クッキング・フェスタ「食と健康」セミナー 講師：言語聴覚士 谷内節子・管理栄養士 畑中聡子（北國新聞）
2015/12/06	主な医療機関の慢性頭痛治療実績（2014年）、病院の実力～石川編（慢性頭痛）（読売新聞）
2015/12/28	第4回「全国医療経営士実践研究大会」金沢大会 フォトレポート（月刊医療経営士）
2016/01/04	アーキテクチャー×マネジメント® 恵寿総合病院紹介（病院）
2016/01/05	石川県産業機構 医療周辺機器参入向け講座開催告知 恵寿総合病院（日本経済新聞）
2016/01/05	仕事初め けいじゅヘルスケアシステム（北國新聞）
2016/01/10	病院の実力～石川編（脳卒中）（読売新聞）
2016/01/23	介護士向け認知症患者のためのケア技術他、各医療研修の開催 Keiju Innovation Hub （日本経済新聞）
2016/02/02	シニアイノベーター採用 恵寿総合病院（日本経済新聞）
2016/02/03	県産業創出支援機構 医療周辺機器開発ニーズ紹介セミナー開催 恵寿総合病院 （北國新聞・北陸中日新聞）
2016/02/07	病院の実力～石川編（不妊治療）（読売新聞）
2016/02/12	恵寿総合病院 健康管理センター紹介（日中医学交流）
2016/02/26	県産業振興賞受賞 鶴友苑 北平喜美江（北國新聞）
2016/02/20	北陸の主要病院 最新実力ランキング（月間北國アクタス）
2016/03/05~06	恵寿総合病院 外国人受入れ医療機関認証制度（JMIP）認証（北國新聞・北陸中日新聞）
2016/03/24	トピックス 恵寿総合病院 患者送迎サービスの取り組み紹介（北國新聞）
2016/03/26	植物工場「バイテックファーム七尾」設立 金沢工大・県・いしかわ農業総合支援機構・ 恵寿総合病院など連携協力（北國新聞）

■部門名

董仙会本部

■本部

総務部（総務課・広報課）

財務部（経理課・用度課）

情報部（情報管理課）

■TQM センター機能

継続的基本方針

1. 患者・利用者に信頼される医療・介護施設となる
2. 地域社会から必要とされる医療・介護施設となる
3. 経営の健全性を維持する

平成 27 年度方針

恵寿式地域包括ケアシステムを目指すために、『枠を越えよう！』

上記を法人全体で達成するために、人事評価規程に基づき、職員各個人まで目標管理を行った。TQM 指定課題を策定し、各部署のテーマ内容の進捗管理を行い、TQM 発表大会を 2 回実施した。その他の業務について、本部各委員会にて実施した。

■業績・財務の視点

- ・取引銀行の変更を行い、返済負担、金利支払額負担の軽減をはかった。
- ・給与規程において、業績状況により、賞与の基準支給率、勤勉支給率を変更できるように改定した。
- ・個人情報扱うマイナンバー制度実施規程を策定し、業務手順を規定した。
- ・2014 年度業績集の発行を 6 月中に実施した。
- ・本院近隣に新しく 1 つの倉庫を賃借し、すでに賃借している 2 つの倉庫を解約し、賃借料軽減をはかった。この作業には、ダンボール箱約 3,000 箱の移動経費がともなったが、今後事務作業の効率化がはかれる。
- ・本院の患者サービスとして病院通院バスを経費削減のため 1 台とした。その分、10 月に GPS

配車システムを備えた、無料会員制送迎サービス『楽のり君』の運航を開始した。

■顧客の視点

- ・時代の変化に対応した新たな就業規則として、契約職員、パートタイム職員、嘱託職員、無期転換職員を策定した。また、マイナンバー制度の対応等も含めて就業規則を改定した。
- ・情報部にて、導入済みシステムの IT 環境の有効活用を検討した。Remote Access システムの運用により、医師が外部から病院内とまったく同じ環境で電子カルテにアクセス可能となり、医師の勤務負担軽減を実現できた。その他、事務作業の効率化を上げるために、シェアポイントを使っての共同作業も試み、アンケート集計等が数人共同でできることを実証できた。
- ・小規模多機能型居宅介護施設・けいじゅ一本杉の 1 階に「寄り合いどころ『一本杉 Café』」をオープンし週 1 回の頻度で運営を開始した。医療、介護、認知症カフェ機能だけでなく、地域の保健室機能、地域の寄り合いどころを目指している。よって、講座も医療・介護面だけではなく、マイナンバー、確定申告、IT 講座、フラワーアレンジメントなども行なっている。
- ・職員向け広報誌『董仙』を 6 年ぶりに復刊した。

■業務の視点

- ・3 月に引越しオープンした恵寿ローレルクリニック（けいじゅファミリークリニックと血液浄化センターの移転）とローレルハイツ恵寿が、順調に業務できるように、管理支援した。
- ・業務負担軽減のため、給与明細の電子化を実施した。
- ・董仙会の BCP に取り組んだが、未完成であり規程策定にいたらず、次年度に持ち越した。

- ・ 恵寿 Happy Retirement Project として、都会における「シニアイノベーター」の募集を開始し、人材確保を行なっている。
- ・ 今後の董仙会にとって、必要と思われた商標登録の手続きを行なった。
- ・ メンタルヘルスチェック制度導入準備を行なった。
- ・ 本年も障害者（知的、精神、身体）雇用を3名試みた。
- ・ 地域貢献事業として、七尾高校で「医療への誘い」イベント、田鶴浜中学校3年生授業ゲストティーチャーとして、医師他職員を派遣した。

■ 学習と成長の視点

- ・ 恵寿総合病院3病棟6階の旧血液浄化センター跡に、『知の創造、技の熟練』を目指す Keiju Innovation Hub を10月に創設した。創設に際し改修工事の進捗・管理を行い、Keiju Innovation Hub における使用規定、手順を定め、実際の研修の場となるように、具体的研修計画を立案する支援を行なった。
- ・ 董仙会内で、枠を超えて職員交流研修、勤務支援の実施を推進した。

■ 各種補助金申請

以下の補助金等について申請を行い、補助金確定となった。

恵寿総合病院

- ・ 厚生労働省 感染症予防事業費等国負担補助金
- ・ 石川県 新人看護職員研修事業費補助金
- ・ 石川県 認定看護師育成支援事業費補助金
- ・ 石川県 がん診療連携協力病院体制整備事業補助金
- ・ 石川県 臨床研修費等補助金
- ・ 石川県 産科医等確保支援事業補助金
- ・ 石川県 石川県高度・専門医療人材支援事業補助金

- ・ 石川県 多様な勤務形態導入促進事業補助金
- ・ 七尾市 救急告示病院運営補助金
- ・ 七尾市 病児病後児保育事業補助金
- ・ 七尾市社会福祉協議会 七尾市在宅介護支援センター委託料
- ・ 金沢大学 臨床研修費補助金
- ・ 石川県立中央病院 臨床研修費補助金
- ・ 金沢医科大学 臨床研修費等補助金
- ・ 日本医科大学 臨床研修費等補助金
- ・ 石川県臓器移植推進財団 臓器提供シミュレーションに係る助成金
- ・ 日本財団福祉車両助成金

恵寿金沢病院

- ・ 石川県 多様な勤務形態導入促進事業補助金
- ・ 石川県 認定看護師育成支援事業補助金

けいじゅ一本杉

- ・ 七尾市 消防設備整備事業費補助金

鶴友苑

- ・ 七尾市社会福祉協議会 七尾市在宅介護支援センター委託料

■部門名

倫理委員会

■部門代表者

北村 忠昭

■ 2015 年度のトピックス

- ・迅速審査 7 回開催 19 議題 審査
- ・11 月董仙会倫理委員会規程改訂

■概要

「董仙会医学倫理規定」「董仙会倫理委員会細則」「董仙会倫理委員会規定」に基づき医療行為および医学の研究等について倫理的観点から審議・審査を行う。

2015 年度

	委員会	開催日	課題名	申請者	
1	第 17 回	2015/4/22	仮題「脳卒中片麻痺者における分離運動能力・各機能と跨ぎ動作との関連性について（第 10 回倫理委員会承認第 10 - 2 号関連案件）」	理学療法課	田中 秀明
2	第 18 回	6/17	「帰りたい」を支える～多職間連携申し送り書の活用～	緩和医療科	高藤 早苗
3	第 19 回	8/12	『高精度のフローサイトメトリーを用いた PNH 型血球の検出』	内科	山崎 雅英
4	第 20 回	9/3	「高齢脳卒中患者の入院時栄養状態は Activities of daily living に影響をおよぼすか：多変量解析による検討」	臨床栄養課	小倉 要司
5	第 20 回	9/3	「大腿骨近位部骨折患者の身体構成成分の変化」	臨床栄養課	畑中 聡子
6	第 20 回	9/3	「大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折患者における栄養状態の推移」	臨床栄養課	春山 美樹
7	第 21 回	10/14	「重症低血糖症例の実態調査および個々の症例の背景に関する調査」	内科	宮本 正治
8	第 21 回	10/14	「尿路感染症における ESBL 産生菌の保有頻度の検討」	泌尿器科	川村 研二
9	第 21 回	10/14	「祭り」- 魂の叫び	緩和医療科	高藤 早苗
10	第 22 回	2016/2/18	「実地診療における膀胱癌患者の臨床的特徴と治療の検討」	消化器内科	山田 和俊
11	第 22 回	2/18	「母児同室を行った褥婦の手指衛生の現状調査今後の指導に活かすために」	看護部	高橋 敬子
12	第 22 回	2/18	「緊急帝王切開を受けた母親への援助」	看護部	三浦 由香
13	第 22 回	2/18	「初めて化学療法を受ける患者の心理的变化とその援助」	看護部	近畑 萌恵
14	第 23 回	3/23	人工関節登録制度	整形外科	津山 健
15	第 23 回	3/23	能登脳卒中地域連携パス登録患者のデータベース登録患者のデータベース解析	リハビリテーション科	川北慎一郎
16	第 23 回	3/23	尿路感染症における ESBL 産生菌の保有頻度の検討	泌尿器科	川村 研二
17	第 23 回	3/23	急性期高齢脳卒中患者において脳卒中病型は栄養状態に影響をおよぼすか	臨床栄養課	小蔵 要司
18	第 23 回	3/23	「実地医家のための会」JOY（女医）部として～それぞれの活動能登編～	緩和医療科	高藤 早苗
19	第 23 回	3/23	「家族みんなの医療センター」としてできること～単科での限界を超えて～	家族みんなの医療センター	宮田 康一

■部門名

個人情報管理委員会

■部門代表者

北村 忠昭

■概要 特徴

董仙会における個人情報の保護及び管理に関する意思決定、並びに個人情報保護に関する諸規定の管理を行う。個人情報保護に関する個人情報保護マネジメントシステムの主管組織として、個人情報保護管理者、個人情報保護担当者、教育責任者、苦情等窓口責任者等より任命されたもので構成される。

■ 2015 年度のトピックス

8月 第77回

1. 各種責任者の確認

個人情報保護管理者・個人情報保護監査責任者・
苦情相談窓口責任者教育研修担当者・システム
責任者

2. 留保対応についての検討

9月 第78回

1. 個人情報管理委員会申請書・審査結果報告書・

審査結果通知書の制定

2. 「個人情報の取扱について」文書の取扱について

3. 個人情報保護管理規程の見直しについて

10月 第79回

1. 個人情報保護規程の見直案と見直すコアメン
バーの選定

2. 「個人情報に関する同意書」の取扱について

■部門名

教育研修委員会

■部門代表者

進藤 浩美

■概要

「法人職員を対象に、勤続年数や役職に応じた研修を企画実施している。

メンバーは本部、介護事業統括部長、看護学校校長、病院事務長、看護部、医療技術部から構成されている。

■ 2015 年度のトピックス

新規研修として医療倫理の研修会を開催、また Keiju Innovation Hub での定期研修として認知症ケア研修や、BLS 研修等を開催した。

2015 年度

研修名	実施日	内容	参加人数
新規採用職員研修	3/30～31	合同研修（オリエンテーション・人材育成研修）	64
	4/1～3	フロアコーディネーター研修本院正面玄関	57
	4/24	フォローアップ研修Ⅰ（人事評価・救急救命・接遇対応）	57
	6/26	フォローアップ研修Ⅱ（接遇対応・メンタルフォローアップ）	57
	10/2	フォローアップ研修Ⅲ（医療安全・情報管理・メンタルフォローアップ）	57
新任医師研修	4/1,6,13,20	（オリエンテーション）	14
中途採用職員研修	5/13	（オリエンテーション・救急救命）	21
	11/4	（オリエンテーション・救急救命）	39
正職員転換者研修	5/13	（人事評価・就業規則）	27
5年目研修	11/24	（5年目の目標・救急救命）	31
20年目研修	7/7～8	（リーダー育成・董仙会オリエンテーション）	13
新役職者研修	9/4	（組織規程・人事評価規程・就業規則）	10
係長研修	9/15,24	（法人のプロジェクトを知る・人事評価結果）	89
課長以上研修	9/4	（社会人マナー・人事評価結果・マイナンバー）	62
合同役職者研修	9/15,24	（法人のプロジェクトを知る）	156

安全衛生研修	6/11,15,18,19,26	医療安全（携帯電話使用ルール、離床センサー導入による患者見守り） 感染管理（手指衛生）	731
	11/19,20,26,30,12/4	医療安全（医療事故調査制度）感染管理（標準予防策）	735

2015 年度 新規研修

医療倫理研修	3/18	インフォームドコンセント講師 越後 純子氏（虎の門病院）	83
--------	------	------------------------------	----

2015年度 新規研修

こけら落とし研修	10/20	レゴ研修	24
JMECC	11/15	(日本内科学会内科救急・ICLS講習会)	15
救命救急研修	12/5～6	第9回 院内AHA-ACLSプロバイダーコース	5
	12/11	第29回 院内AHA-BLSプロバイダーコース	6
	1/8	第30回 院内AHA-BLSプロバイダーコース	5
	1/30	第4回 院内AHA-BLSインストラクターコース	11
	1/30	第31回 院内AHA-BLSプロバイダーコース	11
	2/12	第32回 院内AHA-BLSプロバイダーコース	6
	3/11	第33回 院内AHA-BLSプロバイダーコース	3
	3/19～20	第10回 院内AHA-ACLSプロバイダーコース	6
救命講習会	2/18	七尾看護専門学校生	44
認知症対応力向上研修	2/9,3/8	(認知症の基礎知識、ユマニチュードの考え方)	22

■部門名

福利厚生委員会

■部門代表者

稲安 浩文（研修部門）

北村 忠昭（レクリエーション部門）

■概要

職員の福利厚生向上のため、研修部門とレクリエーション部門で活動している。研修部門は確定拠出年金説明会開催、レク部門はボーリング大会、新人フォローアップ研修とタイアップした親睦会、バス旅行、忘年会を毎年企画している。構成員は、各部署・各施設を網羅したメンバーである。職員への各種優待制度新設や紹介にも注力している。

■2015年度のトピックス

<研修部門>

1. 確定拠出年金説明会

（8月21日、9月9日、9月11日）

<レク部門>

1. ボーリング大会（6月20日）45名参加
2. 新人仮想ビアパーティー（6月26日）39名参加
3. 七尾港まつり総踊り（7月20日）183名参加
4. 職員バス旅行（11月7日）41名参加
5. 忘年会（12月21日）509名参加

<優遇制度>

1. シダックスクラブ法人団体会員加入
2. 北陸ミサワホーム持家支援協定締結
3. 大和ハウスグループ特別優待券
4. KAGAYA ウェディングご利用特典

■部門名

広報委員会

■部門代表者

北村 忠昭

■概要

董仙会の取り組みを、患者・地域住民・連携医療機関・取引業者・職員に伝えるため、情報収集や伝え方の検討を行う。

■2015年度のトピックス

- ・2016年1月、院内広報「董仙」を6年ぶりに復刊
- ・広報誌「恵寿」（年4回）
- ・連携医療機関向け「Keiju Monthly Letter」（月1回）
- ・ホームページ（随時更新）
- ・デジタルサイネージ（随時更新）

■科目名

消化器外科（恵寿総合病院）

■所属医師

神野 正博 鎌田 徹 山崎 圭介 高井 優輝
牧田 直樹

■科目の特徴

消化器外科で扱う主な臓器は胃・小腸・大腸などの消化管、その他にも胆嚢・肝臓・膵臓・脾臓や乳腺、肛門・甲状腺などを担当しています。スタッフは理事長と常勤医4名です。神野正博、鎌田徹（主に乳がん担当）、山崎圭介（主に消化器外科・腹腔鏡下手術担当）、高井優輝（主に消化器外科・腹腔鏡下手術担当）、牧田直樹（主に消化器外科担当）。外来は原則午前のみで、午後は手術（火曜日は症例検討会と回診）を行っています。

頻度の高い疾患は胃がん、結腸がん、直腸がんなどの消化管悪性腫瘍、胆嚢結石症・急性胆嚢炎・腸閉塞などの良性消化器疾患、鼠径ヘルニア、乳がんなどです。また消化器内科と絶えず連携し、患者さんにとって最良の治療を行えるようにしています。以前から積極的に腹腔鏡下手術を導入しており、胆嚢結石・急性胆嚢炎・胃がん・大腸がん・鼠径ヘルニア・腹壁ヘルニアに対しては腹腔鏡下手術を第一の選択肢とし、低侵襲手術を心がけています。症例によっては虫垂炎に対しても内視鏡手術を行っています。また緊急に手術が必要な急性腹症、消化管穿孔、虫垂炎、腸閉塞、腹膜炎、急性胆嚢炎については24時間、麻酔科の協力のもとにいつでも受け入れる体制をとっています。具体的には休日・夜間でも消化器外科医2人の拘束体制としています。

最近では女性の12人に1人が乳がんを発症すると言われており、乳がん診療に対しても力を入れています。乳腺疾患は毎日、午前の初診医が診ますが、毎週水曜日14時から、金沢大学乳腺外科の非常勤医の診察もあります。乳がん治療に関

しては放射線治療に毎日の通院が必要であったり、10年間の長いフォローが必要であったりするために、能登地域で標準的な治療が行えるようにしたいと考えています。

また緩和医療科、麻酔科、薬剤師、MSW、リハビリなどとチームを組んで、化学療法やがんに対する早期からの緩和ケアにも力を入れております。

■2015年度のトピックス

昨年度と比較し新患者数は微増傾向、手術件数は約8%増加。化学療法件数も増加傾向にあります。また大腸がん手術では半数以上が腹腔鏡手術を実施しました。また鼠径ヘルニア、虫垂炎、イレウス等についても腹腔鏡手術が増加しています。2016年4月より「消化器外科・乳腺外科」と名称を改めより専門性の高い医療の提供を目指しています。

■治療実績

手術症例数 409件（昨年350件）、うち手術室326件（昨年280件）

■科目名

内科（恵寿総合病院）

■所属医師

宮森 弘年 真智 俊彦 宮本 正治 山崎 雅英
羽山 智之 向井 清孝 黒川 浩司 沖野 一晃
谷 まゆ子 佐伯 啓吾

■科目の特徴

内科には、常勤として10名の医師が勤務しています。

種々の貧血や白血病、多発性骨髄腫などの血液疾患に対して、能登地区で唯一の専門医常勤施設であるため、重要な役割を果たしていると認識し、迅速かつ適切な診断と治療を目指しています。

高血圧・腎疾患については、慢性腎不全の定期的な透析は恵寿ローレルクリニックにて、持続的血液濾過や血漿交換などの透析血液浄化療法を必要とする患者さんは恵寿総合病院にて診療しています。クリニックでは、月・水・金曜日は夜間透析をしているので、働きながら透析を受けることも可能です。

糖尿病・代謝疾患に関して、医師や看護師、管理栄養士や薬剤師、社会福祉士などのスタッフがチームとなり、専門的な治療から療養・生活での困りごと、心の問題まで対応し患者さん中心にトータルな診療を行っています。毎週開催の糖尿病教室や糖尿病療養指導士育成などの活動を通して、糖尿病重症化予防にも取り組んでいます。

呼吸器疾患については、増加している肺がんに対し、放射線化学療法、殺細胞性抗癌剤や分子標的治療薬など、患者さん一人ひとりに適した治療を選択し、提供しています。

さらに内科外来では、金沢大学附属病院から血液、呼吸器、内分泌糖尿病の専門医を、金沢医科大学病院から腎臓、内分泌・糖尿病、リウマチ膠原病の専門医を招聘し、専門的診療を充実させています。

内科以外の内科系診療科との連携を密にするために、消化器内科、循環器内科、神経内科、家庭医療科と毎朝のミーティングと月曜18時からのオープンカンファレンスを実施しています。

■2015年度のトピックス

主治医制を継続していますが、休日・夜間や学会出張時等の主治医不在時は拘束医による代行制を確立しました。

入院、外来ともに家庭医療科との患者シェアを進め、より専門医としての診療に専念できるようにしました。

■科目名

消化器内科（恵寿総合病院）

■所属医師

宮森 弘年（兼任） 瀧崎 宇一郎 松田 昌悟
山田 和俊

■科目の特徴

消化器内科は、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢・胆管および膵臓など消化器の全領域を診療対象としています。瀧崎、松田、山田の3名の常勤医師で診療を行っています（宮森内科科長は兼任）、治療方針はカンファレンスで協議を行い意思統一した方針のもとに治療を行います。

上下部消化管・胆膵内視鏡検査により消化管・胆膵におけるがんの早期発見・診断・治療、肝炎に対する経口抗ウイルス治療、自己免疫性肝炎・原発性胆汁性肝硬変、肝硬変・肝細胞癌に対する集学的治療や炎症性腸疾患（クローン病・潰瘍性大腸炎）など幅広い専門性の高い診療を実施しています。緊急を要する病態（消化管出血、食道静脈瘤破裂や閉塞性黄疸・胆管炎など）に対しては、いつでも迅速に緊急内視鏡検査・治療ができる体制をとっています。

食道・胃・大腸の早期がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD：2003年～）、ラジオ波焼灼療法（RFA：2001年～）、総胆管結石に対する内視鏡治療（1999年～）やステント留置術など高度な専門的治療も早い段階から積極的に導入してきました。

能登地区は高齢化に伴い総胆管結石症例が多いこともあり当科では特に力を入れています。内視鏡的十二指腸乳頭切開術（EST）や大バルーン併用拡張術（EPLBD）により治療を行いますが、多数の症例を経験し治療総数では全国的にみても上位に位置しています。

ワークショップや第89回日本消化器内視鏡学会総会・第120回日本消化器病学会北陸支部例会な

どで報告しました。

当院において実施する年間内視鏡検査総数は2014年以降1万件を超えています。内視鏡システムはすべて最新式のシステム・機器を導入し、NBI（狭帯域光法）拡大観察の併用により高い診断精度が得られています。超音波内視鏡下吸引細胞診（EUS-FNA）の導入は、胃粘膜下腫瘍（SMT）、膵癌の病理診断やリンパ節生検による鑑別診断などにおいて威力を発揮しています。膵嚢胞ドレナージに対する超音波内視鏡下嚢胞ドレナージ（EUS-CD）などのEUSを応用した治療（Interventional EUS）もいつでも実施可能となっております。

その他、カプセル内視鏡検査（小腸および大腸）や小腸バルーン内視鏡検査も常時可能です。

当科ではできるだけ苦痛のない診断精度の高い検査を行い、安心して検査・治療を受けていただけるよう心がけています。能登地域の医療機関の皆様や大学病院（症例によっては全国の病院）と緊密な連携を保ちながら最新の医療を実践し地域医療に貢献できるよう誠意努力してまいります。

■2015年度のトピックス、診療実績

高齢者の総胆管結石治療実績は日本で最多であります。

また、内視鏡検査を含め当科は先端施設であり、大腸内視鏡検査数の増加においても評価向上に繋がりました。

年間内視鏡検査総数 10,312件

■科目名

循環器内科（恵寿総合病院）

■所属医師

内山 勝晴 宝達 明彦

■科目の特徴

循環器内科とは、心疾患と血管疾患の内科的治療を担当する“心臓血管内科”とも言える診療科です。循環器病患者さんの多くは最初に循環器内科を受診されるため、循環器疾患の検査・診断に関しても治療と並ぶ大きな柱と位置付けています。当院には心臓血管外科も併設されており、その手術成績も優れているため、心臓血管外科とは密接に連携を取って、お互いの長所を生かすべく治療に当たっています。

循環器疾患、特に急性心筋梗塞や不安定狭心症など緊急対応を要する疾病に対しては緊急カテーテル治療を含めた救急対応が可能な態勢をとっており、地域医療機関からの紹介も多数受け入れております。

当科では可能な限り苦痛と合併症の少ない心臓カテーテル検査を心掛けています。検査のほとんどは手首の血管（橈骨動脈）からカテーテルを挿入しており、検査終了直後から歩行可能です。PCI 症例に関してもその多くは橈骨動脈穿刺で施行しており、治療後の負担軽減を図っています。

■2015年度のトピックス、診療実績

急性冠症候群を含む虚血性心疾患治療に最も力を入れており、経皮的冠動脈形成術（PCI）、下肢閉塞性動脈硬化症の経皮的血管形成術にも積極的に取り組んでおり、合わせて251症例を治療しました。

■科目名

心臓血管外科（恵寿総合病院）

■所属医師

西澤 永晃 中嶋 和恵

■科目の特徴

心臓血管外科は、心臓疾患・動脈疾患・静脈及びリンパ系疾患の治療を行っております。担当医は西澤永晃と中嶋和恵の2人で、院内の他部署と連携し、ハートセンターとしてチーム医療を行っております。

恵寿総合病院での外来診療に加え、能登地区の4カ所のクリニック（穴水・富来・門前・珠洲）においても出張外来を行っております。心臓大血管手術は、虚血性心疾患の外科治療として冠動脈バイパス術・左室形成術や僧帽弁形成術、弁膜症手術、大動脈疾患として大動脈解離・胸部大動脈瘤手術（弓部大動脈人工血管置換）・腹部大動脈瘤手術（人工血管置換術）を中心に、成人心臓外科手術全般の待機及び緊急手術を行っております。ステントグラフトの適応の際には、金沢医科大学血管外科との連携を行っております。末梢動脈疾患としては、閉塞性動脈硬化症に対して、狭窄動脈の内膜剥離術やバイパス術を行っております。最近では動脈硬化性疾患の合併が多く、虚血性心疾患治療と閉塞性動脈硬化症治療を一期的または二期的に実施することが多くなってきており、循環器内科と連携して定期的な症例検討会を行い、最善の治療が行えるような体制を整えています。下肢静脈瘤治療に対しては、レーザー治療を導入しています。下肢の浮腫（リンパ浮腫・静脈還流異常）に関しては保存的治療が中心です。

能登地区で唯一開心術のできる施設として、今後も能登地域の医療機関・石川県内の医療機関と緊密な連携をとりながら地域医療に貢献して行く所存です。

■治療実績

手術件数 316件（昨年度193件）、うち手術室177件（昨年度126件）

■科目名

脳神経センター（恵寿総合病院）

■所属医師

東 壮太郎 岡田 由恵 岩戸 雅之 木元 一仁

■科目の特徴

脳神経センターは、脳神経外科と神経内科で構成され、常勤医は脳神経外科医の東・岡田・岩戸と神経内科医の木元の4名です。

外来部門は脳神経外科と神経内科が隣接し、お互いに相談しやすい環境下で脳神経疾患全般に対応しています。また、能登地区では数少ない神経内科専門医が勤務しています。

入院部門もカンファレンス・拘束体制などを共有し、急性期の診断・治療から回復期、退院後の維持期の治療・介護までをカバーし、一体となって診療にあたっています。

当センターの特徴は、2000年にストロークユニット（SU）を導入して以来、継続しているチーム医療の実践です。モットーは情報共有、治療方針の意思統一、患者中心医療です。具体的には、毎日の入退院カンファレンス、週4回のHCU多職種回診、毎木曜のフィルムカンファレンス、回復期リハビリ病棟での週1回の回診とSUカンファレンス、月2回の症例検討会などです。これによって医師間ばかりでなく、看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士、医療福祉相談員、薬剤師らの多職種が連携した患者中心の医療が実践しています。

また、チーム医療の実践を通じた教育面での貢献も自慢の一つです。医学知識、スキル、プレゼンテーションやコミュニケーション能力などの啓発です。そして、2008年から始まった能登脳卒中地域連携パスというツールの導入も一つの分岐点でした。電子カルテに組み込まれたこのパスは、当院にある全ての端末から、いつでも、どこでも、誰でも、入力が可能で、自院のデータベースだけではなく、能登全体のデータベースを作っており、

全国的に他に例を見ません。

■2015年度のトピックス、診療実績

前年度比、手術室での手術件数は8件減少の44件でしたが、全体の手術件数は93件と8件増加しました。

■科目名

整形外科（恵寿総合病院）

■所属医師

津山 健 藤巻 芳寧 宮田 岳人

■科目の特徴

恵寿総合病院整形外科は日本整形外科学会の専門医を取得している3名の専門医常勤医師で診療を行っています。当科は運動器の疾患を扱っていますが、その範囲は幅広く、四肢・脊椎の外傷（脱臼、骨折、筋肉、靭帯損傷など）や関節痛、腰痛や上下肢のしびれ疼痛などの慢性的な変性疾患などの治療を行っています。取り扱う範囲が広いのですが、分野別の診療体制をとっており、専門性の高い治療を行っています。

外来の診療体制としては毎日外来診療を行っています。初診患者さんは全員で均等に診察をしますが、再診時にはそれぞれの専門分野にあわせて予約診療を行っています。

津山医師は膝、股関節疾患、関節リウマチを専門にしており、人工関節置換術や生物学的製剤の導入を積極的に行っています。藤巻医師は脊椎疾患を専門としています。宮田医師は肩関節疾患を専門とし腱板断裂の内視鏡手術、人工関節置換術を積極的に行っています。外来診療で重点を置いていることは、総合病院の特徴を十分に生かすことです。従来はレントゲン写真で診断を行っていましたが、近年はMRI、CT、エコーなど、診断方法が変わってきました。中でもMRIは有用な検査で、積極的に運用を行っています。診断が困難であった、不全骨折、骨髄浮腫、骨挫傷などの診断が可能になっています。腰痛などの主訴で受診される患者さんの中には悪性腫瘍の骨転移が隠れていることがあります。当院にはPET-CTもありますので、転移性骨腫瘍の原発巣発見に有用です。

高齢化社会になり、骨粗鬆症に伴う骨折が増加しています。当院での、年間の手術件数は約300

件でそのうちの上位は骨折、人工関節手術となっています。ほぼ毎日手術を行っておりますが、麻酔科専門医の協力もあり、骨折等、受傷後の早期手術が可能です。

手術だけではなく保存療法も積極的に行っています。中でも高齢者の脊椎椎体骨折は腰痛の訴えで受診しますが、過去にも椎体骨折を起こしている症例も多く、レントゲン写真では診断が困難です。そのためいち早くMRI検査を行い、クリニカルパスを使用して入院をします。年間100例程度の症例数があります。合併症の椎体偽関節、遅発性神経麻痺は生じていません。

■2015年度のトピックス

昨年度比、手術室での手術件数は297件と7件減少しました。

■科目名

家族みんなの医療センター（恵寿総合病院 家庭医療科・緩和医療科・産婦人科）

■所属医師

新井 隆成 吉岡 哲也 藤岡 洋介 伊達岡 要
高藤 早苗 安田 豊 宮坂 麻由子 高多 佑佳
宮田 康一

■科目の特徴

2014年、恵寿総合病院に「家族みんなの医療センター（MCEF: Medical Center for the Entire Family）」を開設しました。これは家庭医療科、産婦人科、緩和医療科が一つのチームになって、ゆりかご前医療からお亡くなりになった後の患者家族との関わりまで一体的に取り組み、全人的医療サービスの強化・維持を図ったものです。

さらに2015年3月16日には恵寿ローレルクリニック（KLC）をオープンさせ、これまで家庭医療科が行ってきた病院内での産婦人科・小児科外来診療を引き継ぎ、これまで以上に家族全体を統合的に診療できる環境を整えました。

家庭医は小児から高齢者までの内科や産婦人科に限らない様々な症状や疾患の診療を提供するだけでなく、妊婦健診、小児健診も行っています。ですので、家族みなさんで一人の医師に受診することが可能です。特に子供の世話をしたり高齢者の世話をしたりする世代のご家族には負担軽減にもなります。また幅広くプライマリ・ケア領域の外来・入院診療を担当させていただくことによって、病院領域別専門医がより自分の専門に集中することができ、より高度で質の高いケアの提供につながることも期待しています。現に産婦人科ではこれまでできなかった手術が行えるようになり、分娩緊急時のバックアップ体制が強化されました。

能登地域は高齢者を総合的に診ることのできる医師と包括的ケアを提供できるサービスの需要が高まっていることは言うまでもありませんが、MCEFはその高齢者を支える若い世代がこの地域に安心して暮らせる医療の提供を重視しています。

高まる高齢者医療の需要に対しては、先述のことに加えて、KLCによる在宅診療、MCEFでの在宅、施設からの地域包括ケア病棟への受け入れも含めて、患者やその家族、地域のニーズに応え、在宅から入院、施設あるいはまた在宅へとスムーズなケアの提供に努めています。

また担癌患者さんや終末期を迎えようとする患者さんには人生の最期をより安楽に迎えることができるように緩和医療専属医を中心とした緩和ケアチームによる医療を提供しています。

■2015年度のトピックス

恵寿ローレルクリニックを開設し、家庭医療科は業務の集約化が進みました。また、家庭医療を目指す後期研修医も2名増加しました。

9月に金沢都ホテルで第一回 ALSO 学術集会を開催し、全国からの参加がありました。

また、11月には田鶴浜中学校にて出前授業を行い医療職の魅力を生徒に伝えました。地域包括ケア病棟のレスパイト入院を担当し1日10名程度の患者を受け持っています。

■科目名

産婦人科（恵寿総合病院 不妊外来）

■所属医師

小濱 隆文

■科目の特徴

2014年「家族みんなの医療センター（MCEF）」の開設にともない、不妊治療を専門とする外来を別途開設し、小濱医師が不妊外来を担当しています。

「不妊治療」と呼ばれる医療は、大きく『一般不妊医療』と『高度生殖医療』に分けられ、不妊外来では双方の医療を提供しています。

『一般不妊医療』は、タイミング療法～授精までの治療を指します。まずは、この治療の中でより早期に妊娠ができるように計画をします。自然周期による治療、適切な排卵誘発剤（クロミフェンなど）を用いた排卵誘発周期による不妊の治療などがあります。

『一般高度生殖医療』は、一般不妊治療よりも高度な技術を使った不妊治療を指し「高度不妊治療」といいます。その中の一つである体外受精・胚移植法では、妊娠率を上げるため排卵誘発剤で卵巣を刺激し、一度に複数の卵子を成熟させます。成熟した卵子を卵巣から取り出し、卵子と精子を体外で受精させ、受精卵が細胞分裂したことを確認してから子宮に胚を移植します。

当科では適用となるそれぞれの場合により、患者さんに適した専門医療を提供しています。

■2015年度のトピックス

体外受精に関しては、月平均10件程度行いました。実績として40歳以上で4割の成功例があり、成功率は全国平均より高く推移しました。

なお、体外受精・胚移植法へのステップアップは患者さんへの丁寧な説明によりスムーズに行われました。

■科目名

小児科（恵寿総合病院）

■所属医師

柳瀬 卓也 中谷 茂和

■科目の特徴

小児科は常勤医2名（うち、1名は月、水、金には烏屋診療所勤務）で小児の急性感染症などの小児疾患及び予防医学の観点より重要度が増している小児のワクチン接種、乳児健診を実施しています。さらに持続的な管理が必要な小児循環器、小児神経、小児内分泌の専門外来を中心に診療をしています。具体的には、一般診察に加えて月曜午後は予防接種外来と小児内分泌外来（毎月1回第3月曜日に金沢医科大学小児科より専門医来院）、火曜日午後は小児神経外来（第4火曜日を除く毎週1回金沢医科大学小児科より専門医来院）、水曜日午後は乳児健診、木曜日午後は小児循環器外来（当科常勤医担当）を開いています。これらの専門外来はすべて予約制を取っています。

また、地域医療に貢献する目的で毎週水曜日と金曜日夕方5時15分より午前0時まで小児救急外来を開設し小児科専門医が診療を行うとともに、輪番制で休日診療（午前中）に参加しています。

■2015年度のトピックス、診療実績

外来新患者数は1,912名、前年比6%増でした。

■科目名

放射線科（恵寿総合病院）

■所属医師

角 弘諭

■科目の特徴

放射線科の業務は大きく分けるとCTやMRI等を用いた画像診断と放射線を利用した治療の2種類があります。

恵寿総合病院が能登地区で唯一所有している高度な放射線検査機器は3種類あります。まずは、PET/CTです。がん細胞が正常細胞よりもブドウ糖をたくさん取り込むことを利用し、FDGと呼ばれるブドウ糖に微弱な放射能を出す成分（¹⁸F）を組み込んだ薬剤を静脈から注射します。FDGががん細胞に取り込まれるとそこから放射線が放射せられ、それをPETカメラで検出し、がんの正確な位置とその性状や悪性度を分析しています。一度に全身のがん検索ができますが、臓器によっては正常でもブドウ糖を多く取り込むものもありますので、他の検査と組み合わせて利用しています。次に3テスラMRIマシンです。特に頭・脊椎・女性骨盤（子宮・卵巣）・肝臓の一部に関しては、従来のMRIより格段に高分解能で高感度な画像が撮影できます。最後は、デュアルソース（2管球搭載）型CTマシンです。高度な石灰化や手術をして金属が入っているところなどはアーチファクトといって白い線が入り、これが病変の近くにあると病変が検出されにくくなりますが、このCTマシンを用いればアーチファクトがかなり抑えられた画像を撮影することが可能になり、狭窄や動脈瘤等の血管性病変が発見しやすくなります。

また、脳血流シンチグラフィ検査では脳血管障害や認知症等を診断できますが、近年では疾患別解析専用ソフトが開発され、脳血流の異常部位の自動検出と定量的評価、及び前回検査との客観的比較等が可能となり、診断の精度が格段に向上しました。冠動脈CT検査やMRA検査等で主幹動脈の狭窄がみられ虚血が疑った場合でも、この

検査を受けることで実際には十分な血流が保たれていて手術をしなくても経過観察で十分だというケースも見つかっています。このように核医学検査では、CTやMRI画像だけではわからない機能という情報を画像化できるメリットがあります。

上記のような放射線機器や検査を活用し、病気の早期発見や予防につなげていきたいと考えています。

■2015年度のトピックス、診療実績

CT:7%増（約15,000件）、MRI:1%増（約4,600件）、PET:5%増（約900件）でした。MRIは過去最高の件数でした。

■科目名

形成外科・美容外科（恵寿総合病院）

■所属医師

山野辺 裕二

■科目の特徴

形成外科は、簡単に言い表すと「外見を治す外科」、「皮膚を扱う外科」、「血の出るけがを治す外科」になります。美容外科とは、このうち「(病気やけがで損なわれた)外見を治す」のではなく「異常がない外見をさらに良くする」ということを意味しており、形成外科の一部と言えます。整形外科は骨や関節・筋肉を担当範囲とすることが多く、形成外科は皮膚を範囲とすることが多いです。ただ、服の外に出ている顔や手の骨折は、基本的に形成外科が担当します。

頻度の多い症例としては、血の出る外傷の治療や、皮膚の腫瘍の切除といったものがあります。傷跡や先天異常の修正、熱傷や陥入爪の診療も行います。見た目の問題と言っても、それが原因で心に悩みを抱えている患者さんは少なくありません。手術で心も明るくなったという方が多くいらっしゃいます。

褥瘡についてもチームの一員として治療に参画しています。診療にあたっては、丁寧な説明により納得して治療を受けていただくことと、麻酔の注射からキズのガーゼ交換まで、できるだけ少ない苦痛で的確な診療を行うことを心がけています。現在当院で行っている美容外科診療としてはピアス穴作成や薬物療法などに限られており、本格的な美容医療の多くについては、他の専門医療機関へ紹介しています。しかし美容外科を希望して受診された患者さんでも、診察の結果、保険診療になることがしばしばありますので一度受診をお勧めしています。

■2015年度のトピックス

2015年度末より診療体制を縮小しておりご迷惑をおかけしましたが、2015年4月より常勤医師1名、非常勤医師2名の体制となり、毎日午前中の外来診療に加えて、手術や時間外の救急患者にも

対応できるようになりました。当院で対応できない患者さんにつきましても、近隣や金沢方面の高度医療機関と連携して、国内で最高レベルの医療を提供できる体制を整えています。

■診療実績

手術件数 626件（昨年度503件）、うち手術室73件（昨年度55件）

■科目名

耳鼻咽喉科（恵寿総合病院）

■所属医師

坂本 雅之

■科目の特徴

耳鼻咽喉科は、しっかりと診断をつけること、そして悪性腫瘍など「悪い病気」は絶対に見落とさないことを診察方針としております。

診療方針は、できるだけ恵寿総合病院で完結するように心がけ、大きな手術が必要な患者さんには金沢大学附属病院や金沢医科大学病院に紹介を行っております。

外来診療体制は、常勤医師が月曜の午前・午後と水曜から金曜の午前を担当し、火曜の午前のみ、金沢大学の非常勤医師が担当しています。火曜の診療内容は変わりませんが、加えて金沢大学附属病院で手術を行った患者さんのフォローアップを行っております。

また、画像診断に関してはCT、MRIなどはその日のうちに撮れますし、PET-CTも1週間以内で撮影を行えます。検査機器も充実していますので診断が早く、早期に病気を発見し早期治療の開始が可能であることが特徴です。

疾患の中で、最近爆発的に増えているのは「がん」、特に「喉頭がん」が増えています。増加の原因は不明ですが、前述のとおり検査機器が充実していることにより早期に発見できることも関連していると考えられます。例えば、声帯にできた「がん」は2mmの大きさで発見が可能で、放射線治療で95%以上が治ります。1日5分位の放射線治療を、金沢まで通わなくても恵寿総合病院内で完結出来る体制を敷いています。

■2015年度のトピックス

5月よりスギ花粉症患者さんに対して「舌下免疫療法」を開始しました。これは舌の裏に花粉エ

キスの錠剤を置くことで花粉を大量に体に取り込み、慣れさせる治療法です。

■診療実績

手術室での手術件数は31件（前年度比63%増）、全手術件数も126件（同22%増）。増加の要因は前年度まで形成外科が担当していた頸部リンパ節摘出術や鼻骨骨折整復術を再開したためと考えられます。

■科目名

眼科（恵寿総合病院）

■所属医師

馬渡 嘉郎

■科目の特徴

眼科は、白内障、緑内障、糖尿病網膜症の診断や治療を行います。その他にもアレルギー性結膜炎、細菌性・ウイルス性結膜炎、麦粒腫、花粉症、屈折異常（近視・遠視・乱視・老視）、眼精疲労、睫毛乱生、眼瞼内反症、眼瞼下垂症の診断や治療を行います。

手術件数は年間約700件で、1日に多い時で8～10件の手術をしています。水晶体再建（眼内レンズ挿入）術を一番多く執刀していますが、適応患者さんの増加により、硝子体の手術や眼瞼下垂の手術にも力を入れています。

診療体制は、常勤医が月曜から金曜午前中に外来診察を担当し、金曜午後のみ、金沢大学の非常勤医師が外来診察をしています。また、出張外来として、金曜と木曜の午後に、珠洲市総合病院と町立富来病院に出向いています。

今までは緑内障の治療は、レーザー治療や点眼薬の処方、手術が必要な患者さんは大学病院へ紹介していました。点眼薬治療では限界のある患者さん、点眼薬をきちんと実施できない患者さんもいますので、患者負担の少ない繊維柱帯切開術（トラベクトミー）を、当院でも積極的に実施していこうと考えています。

■2015年度のトピックス、診療実績

手術室での手術件数は655件（前年比3%増）、全体の手術件数は814件（前年比8%増）。

白内障、眼瞼疾患の手術件数は県内で有数。硝子体手術は定期的に施行され昨年度は約50件施行し、年々増加傾向にあります。また、緑内障手術を開始し、今後定期的に実施していく方針です。そして鼻涙道疾患は恵寿金沢病院への紹介提携をすすめています。

■科目名

皮膚科（恵寿総合病院）

■所属医師

石崎 康子

■科目の特徴

皮膚科では年齢や性別にかかわらず、皮膚（毛髪、爪も含む）におこるあらゆる病気、異常の診断や治療を行います。

当院の特徴は、総合病院において他診療科と連携し治療ができることです。たとえば帯状疱疹の痛みのコントロールを麻酔科と、外傷や褥瘡など外科的な治療が必要な病気は形成外科へ依頼します。全身に症状があり、原因不明の皮疹の場合は、内科と協力しています。

主な検査として、金属や食物アレルギーを診断するパッチテスト、紫外線を当てて日光アレルギーを診断する紫外線検査、水虫など真菌症に対する真菌検査などを行っています。また、ダーモスコピーという非侵襲的検査は、ホクロが腫瘍かどうか診断するもので、特殊な拡大鏡をホクロにあて観察します。

乾癬の治療に関しては、日本皮膚科学会の承認を得た生物学的製剤を処方することができ、従来の治療で効果がみられない患者さんを中心に、注射または点滴を行っています。

■2015年度のトピックス、診療実績

外来患者数は11,628名、前年比4%増でした。

■科目名

泌尿器科（恵寿総合病院）

■所属医師

川村 研二

■科目の特徴

泌尿器科では患者さんに優しい診断・治療・手術を目指しています。外来診療では患者さんにとって痛い検査、恥ずかしい検査とならないよう、最新の医療機器を用いています。これらの検査で年間約40～70例の新規の癌を診断・発見し、年間約200件の手術を行っています。前立腺肥大症と膀胱癌の内視鏡手術が半数を占め、25%が腎臓尿管結石に対する衝撃波治療、前立腺癌や腎臓癌の小さな傷の開腹手術（切開創の長さ：5～8cm）は年間で約20～25件行なっています。今後も患者さんのために、最新の診断・治療・手術を行っていきたいと考えています。

■2015年度のトピックス

術後の早期退院を目指しており、内視鏡手術では術後2～3時間目からの飲水・歩行・当日食事摂取、小さな傷の開腹手術でも術後4時間目からの飲水・歩行・当日食事摂取を推奨しています。この試みは全国でも注目されており、千葉にて11月に開催された「第16回日本クリニカルパス学会学術集会」のシンポジウムにおいて発表し、全国の医療者の疑問点である「術後早期に歩いたり食べたりして大丈夫なのか？」— その疑問に対して、術後2日目には90%以上の患者さんが痛み・食欲・精神的な落ち込み等から回復しているということを説明しました。

また、前立腺剥離切除術という最新の内視鏡手術を、泌尿器科医師に対し教育講演（日本泌尿器学会総会）も行いました。その他、専門である「尿路結石の研究および手術治療」「泌尿器癌の研究および手術治療」「尿路感染症の臨床研究」「前立腺肥大症・膀胱癌の内視鏡手術」に関する10回以上

の学会発表を行いました。

■診療実績

経尿道的膀胱腫瘍切除49例、経尿道的前立腺剥離切除術35例、腎臓がん手術8例、前立腺全摘除術8例、膀胱がん開腹手術4例等、年間195例の手術を行いました。再手術例はなし。術後回復強化プログラムをほぼ全例に実施しており、小さな傷（7cmの切開長）の開腹手術では95%の患者さんが術後4時間目に離床・歩行・飲水が可能でした。

■科目名

麻酔科（恵寿総合病院）

■所属医師

長谷川 公一 櫛田 康彦

■科目の特徴

当院の麻酔科では「手術麻酔管理」「ペインクリニック」を二本の柱に、各科と協力しながら診療を行っています。

「手術麻酔管理」では手術前に外来を受診いただき、患者さんの症例に応じた最適な麻酔を提供できるようにしています。安全面は当然ですが、術前の経口補水やウォークインの導入、全身麻酔に末梢神経ブロックや硬膜外ブロックなどを併用した術後の痛みの軽減策、周術期の悪心や嘔吐の予防策などによって、早期の離床、経口摂取を目指しながらより質の高い麻酔を行えるよう心がけています。

また当院の「断らない救急」を実践すべく、常勤医2名体制（長谷川、櫛田）をとっておりますので、緊急手術においても脳血管疾患から、心臓大血管疾患、急性腹症、骨折、また高齢者から小児までどのようなケースにも24時間365日対応が可能です。

「ペインクリニック」は、痛みにより生活が制限されている患者さんすべてが対象になります。各科の専門医と協力し、ペインクリニック専門医が患者さんの希望を最大限取り入れながら、神経ブロックだけではなく薬物治療を併用し、最適な治療を行っています。慢性疼痛の完全除痛は困難ですが、理学療法や精神療法なども用いて生活の質向上を目指しています。

なお、能登地区唯一である入院対応可能な疼痛専門診療科としての強みを活かし、紹介患者の迅速な入院受け入れも行っています。

また、櫛田医師は当院の緩和医療チームの中心的役割を担っているほか、石川県、能登地区の緩和医療のリーダーとしてその普及、教育にも尽力するなど、地域全体としての医療の質向上にも努めています。

■2015年度のトピックス、診療実績

麻酔科管理手術件数：1,017件（2014年度932件）

帝王切開術（前年比102%増）や、無痛分娩の疼痛管理（前年比22%増）等、周産期医療への関与は増加しています。

■科目名

リハビリテーション科（恵寿総合病院）

■所属医師

川北 慎一郎 西願 司

■科目の特徴

リハビリテーション科（以下、リハ科）では全科の入院患者のリハ処方を行っており、新患リハ処方数は年間約 2,000 例で、入院中患者の約 55% にリハ医療を行っています。病名は、脳卒中など脳疾患が年間約 400 例、骨折など運動器疾患が約 600 例ですが、最近内科や外科患者のリハ依頼が増え、肺炎など呼吸器疾患が約 300 例、心不全など心疾患が約 200 例、がん患者のリハが約 200 例、その他 300 例となっています。当院回復期リハ病棟は能登唯一のリハ病棟ですが、リハ量だけでなく質も重視しており、全国的にも高い ADL 回復度、自宅復帰率を誇っています。

さて、年々入院患者は高齢化し、1人で多くの疾患を持ち安静を余儀なくされるため容易に日常生活能力が低下する人も多く、急性期から疾患治療と併行したリハ治療が必要となっています。さらに、認知症を持つ患者も増加しています。これに応えるため当科ではリハ専従常勤医 2 名に加え、法人で約 100 名のリハスタッフを揃え、訓練室も急性期・回復期・心リハの 3 部屋を備え、すべてのリハ患者で土・日のリハ提供体制も整いつつあります。また認知症対応を行う院内チームをリハ医、神経内科医、リハスタッフと病棟ナースで立ち上げました。

最先端機器を取り入れた入院リハ（治療的電気刺激、免荷式歩行訓練など）だけでなく、外来では痙縮に対するボツリヌス治療（北陸最大数）、認知症診断、嚥下評価（VE・VF）、自動車運転評価、装具作成などを行い、在宅や介護との連携も積極的に行っています。

■ 2015 年度のトピックス

リハスタッフと介護部門の意識した退院報告書の変更や回復期病棟と訪問リハとの連携を拡大しました。

■科目名

健康管理センター(恵寿総合病院)

■所属医師

倉知 圓

■科目の特徴

恵寿健康管理センターは、2015年5月30日付で日本人間ドック学会の定めた資格審査基準をクリアし、「日本人間ドック学会機能評価認定施設」として認定されました。

この機能評価は、日本人間ドック学会が、質の改善活動を促進し安心して健診を受けていただける施設であることを第三者評価という形で保証することを目的としており、能登地区では当施設が初の認定となりました。今後もより満足度の高い健診施設を目指し取り組んでまいります。

■2015年度のトピックス、診療実績

受診者数は2015年度実績で、一般健診4,830名、人間ドック1,054名、一泊ドック508名であり、内視鏡検査数は4,891件、PET健診数は145件になっています。

地元和倉温泉の旅館と提携した一泊ドックの運営を開始し、好評を得ています。また、PET/CTセンター開設を機に設定した「メディカル・ツーリズム」への対応も、首都圏や関西方面、国外では中国から受診者をお迎えしています。

9月 健診システムを最新版に更新して抜本的な業務改善とサービス向上を図りました。

11月 厚生労働省試行事業である宿泊型新保険指導に採択され、5名が当該試行事業に参加しました。

■部門名

中央診療部門（恵寿総合病院）

■ 2015年度のトピックス、診療実績

■救急部：

救急車搬入数 1,630 件、前年比 117 件増。

七尾鹿島広域圏救急車搬入率 47.2%

■中央手術部：

手術室手術件数 1,874 件、前年比 105 件増

緊急手術 503 件、前年比 23 件減

麻酔科管理 1,017 件、前年比 85 件増

■血液浄化療法部：

2015 年度透析件数 19,200 件

クリニック移転に伴い、予約制が確立。

待ち時間が減少しました。

■PET-CT リニアックセンター：

PET-CT 件数 903 件（過去最高）

■内視鏡部：

内視鏡件数 10,312 件、前年比 292 件増

■放射線部：

一般撮影 46,126 件、CT 15,508 件、MRI 4,766

件（過去最高）マンモグラフィ 2,383 件（過去

最高）、シンチグラフィ 280 件、心カテ（ペー

スメーカー・PTA 含む）601 件、その他血管造

影 106 件

■リハビリテーション部：

・急性期病棟における土曜日リハビリテーションを開始

・自動車運転シミュレーター導入

・摂食・嚥下外来開始

■薬剤部：

後発医薬品数量シェア 83.5%

■臨床栄養部：

・特別食比率 60.1%

・消化器外科術前、術後の栄養指導を開始

・能登 NST 研究会、食力の会、七緒の会の参画を継続

■臨床検査部：

検体検査 236,244 件、病理 10,078 件、細菌検

査 14,773 件、生体検査 19,117 件

■臨床工学部：

関与手術 61 件、インターベーション関与 51 件、

病棟透析（CHDF 含む）6 人、外来透析での患

者関与 504 人、機器保守点検は 236 件

■部門名

看護部（恵寿総合病院）

■部門代表者

本橋 敏美

■ 2015 年度のトピックス

4月

- ・新人看護師 19 名入職（うち、中国人看護師 3 名）
- ・ハイケアユニット入院医療管理料病棟（10 床）が稼働しています。
- ・「抗がん剤投与実践研修」スタート。

5月

- ・看護週間イベント「プチナース・ふれあい看護体験」を開催、園児 35 名を受け入れました。

7月

- ・日本看護協会認定の認定看護師資格（感染管理認定看護師、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師）を 3 名が取得しました。

8月

- ・「看護外来」6 部門（認知症看護相談、呼吸酸素看護相談、ストーマケア外来、腎症予防生活指導外来、不妊・更年期・思春期看護相談、母乳育児相談）を開設しました。
- ・中国人看護師候補生（瀋陽）2 名を短期滞在研修として受け入れました。

9月

- ・恵寿金沢病院 前大道看護師長と交流研修を実施しました。

10月

- ・2 年目看護師前期事例研究発表会 10 名が看護の振り返りを発表しました。
- ・県の事業として、「院内助産」見学研修として、助産師 2 名を受け入れました。

11月

- ・恵寿総合病院にて初めて 3 名が「学会認定・自己血輸血看護師」の認定を受けました。

- ・2 年目看護師後期事例研究発表会 9 名が看護の振り返りを発表しました。

12月

- ・助産師の新たな認証制度として今年度より始まった「臨床ラダー（助産実践能力習熟段階）」レベル III 認証（一般社団法人 日本助産評価機構）において、当院の助産師 7 名が認証されました。認証された助産師は「アドバンス助産師」と呼称されます。7 名の「アドバンス助産師」認証は能登地区で最も多く、ケアの対象である妊産婦やそのご家族への信頼性向上につながることを期待されます。
- ・5 病棟 5 階で二交代勤務開始しました。年度末までに、4 部署が 2 交代勤務を導入し、WLB の充実を図っています。
- ・院内で初、男性職員として戸田看護師が、育児休暇をとりました。

1月

- ・AHA 公認 BLS インストラクター資格を 10 名が取得しました。
- ・1～2 月に七尾訪問看護ステーションの協力を得て、訪問看護実習を師長 4 名が体験しました。

2月

- ・院内看護研究発表会で 5 演題を発表。看護研修指導者の北里大学准教授中山栄純先生から講評をいただきました。

3月

- ・当院自前の「抗がん剤投与実践研修」を年間 2 回実施し、5 ヶ月間の教育プログラムを 21 名が修了しました。

■部門名

恵寿金沢病院

■病院長

上田 幹夫

■概要

2014年7月「NTT西日本金沢病院」から「恵寿金沢病院」に生まれ変わって以降、当病院では、地域包括ケア病床の運用開始をはじめ、様々な病院内の体制変更がありました。国からは地域医療構想の策定に向けた病床の見直し、後発医薬品使用の推進強化、医療事故調査制度に向けた対策など、次々と政策が打ち出され、当病院としても外的環境の変化に対応できるよう対処して参りました。

そのような環境変化の中、当病院は、各診療科（内科、消化器外科、整形外科・リウマチ科、眼科、耳鼻科）において患者さんの受入体制を整え、応援医師の派遣や患者紹介・逆紹介などで大学病院との深い連携交流を継続してきました。佐賀前病院長は、外来診療やドック事業を継続して担当され、診療や病院運営に関して安定したサポート体制を構築し、血液内科 熊野医師と糖尿病内科 井上医師（非常勤）が新たに加わり、当病院の診療の幅はさらに広がりました。また、地域全体で患者さんや高齢者を支えていく包括ケア体制を構築するため、介護福祉職員を2名に増員し、訪問リハビリ職員を1名配置しました。これまで以上に、迅速できめ細やかな質の高いサービスが提供できるものと思います。

また、北陸新幹線の開業により市内の観光地や名所は大変賑わうこととなり、観光地に位置する当病院に外国人観光客が患者として入院することなどにも対処してきました。

医療や福祉を取り巻く状況は、今後さらにめまぐるしく変化して行くことと思いますが、当病院は近隣の医療機関をはじめ関係する皆さまとの連携をさらに深め、歩んで行きたいと思っております。

■ 2015年度のトピックス、診療実績

- 4月 日本医療機能評価機構による病院機能評価認定(3rdG:Ver.1)更新
- 6月 「がん化学療法看護師」の認定を取得
- 6月 地域包括ケア病床でレスパイト入院受け入れ開始
- 9月 「平成27年度金沢市広告景観協力賞」を受賞
- 9月 全日本病院学会 in 北海道で2題の演題を発表
- 9月 がん患者サロン「こもれび」が始動
- 11月 上田病院長「金沢市医師会・永年会員表彰」受賞

■部門名

クリニック (鳥屋診療所、田鶴浜診療所、恵寿ローレルクリニック、恵寿鳩ヶ丘クリニック)

■所属医師 (院長) 顧問

齋藤 靖人 (鳥屋診療所)

中谷 茂和 (鳥屋診療所)

和田 汪 (田鶴浜診療所)

吉岡 哲也 (恵寿ローレルクリニック)

宮本 正俊 (恵寿鳩ヶ丘クリニック)

■恵寿鳩ヶ丘クリニック：

患者数は930人でありました。CT機器故障で使用できない時期がありましたが、入れ替えを行いました。

■2015年度のトピックス

■鳥屋診療所：

患者数は7,156人であり昨年度に引き続き増加し全体で前年度比1.3倍でありました。特に小児科は中能登町唯一の診療科として定着し、前年度より1.5倍の新患者増となりました。また、中能登町の3、4ヶ月健診をすべて担当するなど保健事業にも積極的に参加しました。

■田鶴浜診療所：

患者数は7,379人であり、新患者数は減少傾向であるものの、地域のイベント等へ出向き健康教室や介護教室を開催し患者獲得の取り組みを継続しました。恵寿総合病院への紹介者数は増加しています。

■恵寿ローレルクリニック：

2015年3月16日より恵寿ローレルクリニックがオープンし、これまで家庭医療科が行ってきた病院内での産婦人科・小児科外来診療を引き継ぎ各診療科医師がクリニック内で診療することができるため、家族全体を統合的に診療できる環境が整えられました。透析を除いた患者数は10,426人、透析の患者数は18,625人でありました。

■部門名

董仙会介護事業統括部

■部門代表者

小垣 悟

■2015年度のトピックス

- ・7月より在宅複合施設ほのぼの、8月よりデイサービスセンターいこいは通所サービス時間を7時から9時間へ変更しました。
- ・8月から介護老人保健施設和光苑は在宅復帰機能が高い施設として「在宅復帰・在宅療養支援機能加算」の要件を満たすことになりました。
- ・10月、介護老人保健施設和光苑が公益社団法人石川県労働基準協会連合会より交通安全事業所として「事業所（労働衛生）表彰」を受けました。
- ・11月4日、けいじゅ一本杉内に『寄り合いどころ「一本杉 Café」』をオープンいたしました。『寄り合いどころ「一本杉 Café」』は、地域の身近な方々が気軽に集まれる場です。政府が推進する「認知症カフェ」にとどまらず、町づくりカフェ、認知症予防、町の保健室など、年齢・関係なく人が交流する「寄り合いどころ」を目指します。
- ・11月、「デイサービスセンターいこい」に地域の皆様をお招きして地域交流会を開催しました。参加者約20人は当施設の利用者がどんなことをしているのかを体験されました。
- ・11月、在宅複合施設「ほのぼの」介護福祉士が、中能登町立鳥屋小学校の4年生約40人に向けて、高齢者を知ってもらおうと「高齢者疑似体験&車椅子」授業を行いました。
- ・2016年1月より鶴友苑は在宅復帰機能が高い施設として「在宅強化型」の要件を満たすことになりました。
- ・2016年3月、小島町老人会「鶴亀会」へ和光苑職員が出張出前講座を行いました。内容は「地域のみんで元気に支えあいましょう」で約20人の方に認知症の話と健康体操を行いました。

■部門名

徳充会 障害者事業局

■部門代表者

今寺 忠造

■2015年度のトピックス

昭和60年の障害者支援施設青山彩光苑開設から30年が経過しました。

4月1日の誕生日、理事長に、ローレルの木（花言葉：輝ける未来）に続き、さらなる発展とたくさんの実（成果）をつける願いと決意をこめて、「みかん」の木を植えて頂きました。

以下、各事業所の使命とニーズへの対応を簡単に紹介します。

■青山彩光苑リハビリテーションセンター

県内唯一の入所可能な機能訓練の事業所です。理学・作業療法に加え、生活技能や社会生活力を高める訓練をします。生活の質の向上や就労へのニーズにも対応します。6名在宅・1名就職・1名就労継続Bへ。国体は2名参加で金1銀1銅2。

■青山彩光苑ライフサポートセンター

常時、介護を必要とする利用者を支援します。スポーツ（県・市風船バレー他）、余暇支援（生け花、太鼓他）、外出（祭り観戦・グルメ他）、北陸新幹線旅行は4コース（東京2・長野・富山）14名参加、国体参加1名で金メダル2個。

■さいこうえんの障害者生活センター

七尾市役所隣りで、相談支援、域活動支援センター、就業・生活支援センターの3つの事業を行っています。働く支援は、就労支援出前講座の開催4回、就業定着支援年6回、就職件数は前年比6件増。相談件数は、前年比733件増。

■青山彩光苑穴水ライフサポートセンター

能登北部初の全室個室の生活介護施設です。

日中活動は、作業、スポーツ（ボッチャ：全国大会優勝、ゴロ卓球他）、余暇支援。単独旅行支援：北陸新幹線・飛行機利用各1名。

相談支援キララは連携強化で能登北部をリード。

■青山彩光苑ワークセンター田鶴浜

通所の働く施設です。田鶴浜町の中心地で新規に洗濯事業を始めました。

従来の水耕（ネギ・水菜）、土耕（野菜・苗他）、軽作業、リサイクル、商品販売も行っています。北陸新幹線効果で、菓子箱折り作業は好調です。

■石川県精育園

県からの指定管理の知的障害者支援施設です。

3年が経過しました。看護師・作業療法士、介護福祉士の専門職を手厚く配置し、強度行動障害への対応を強化しています。県職と徳充会のコラボで、新しいサービスの創造にチャレンジしています。

■部門名

徳充会 高齢者事業局

■部門代表者

小垣 悟

■2015年度のトピックス

■エレガントなぎの浦

- ・田鶴浜高等学校介護福祉科、七尾看護専門学校、国際医療福祉専門学校より5名実習生の受け入れを行いました。

■エレガントたつるはま・もみの木苑

- ・田鶴浜高等学校介護福祉科、七尾看護専門学校、国際医療福祉専門学校より5名実習生の受け入れを行いました。
- ・田鶴浜の交流館を中心に年間5つの地区で9回健康教室等を開催。参加人数は延97人でした。(事前にアンケートを実施し、地域住民の方のニーズに応じて実施。)
- ・田鶴浜保育園と毎月の誕生会等を通じて、来所及び訪問の交流を実施しました。

■ふれあいの里

- ・5月と9月に地域の方々とボランティアの方を交えて、春季・秋季グランドゴルフ大会の開催し交流をしました。
- ・田鶴浜高等学校介護福祉科4名、七尾看護専門学校6名、金沢大学2名の実習生受け入れを行いました。

■ローレルハイツ恵寿

- ・4月 ラジオななお出演
ローレルハイツ恵寿について、施設の詳細と入居についての流れ、料金等を放送しました。
- ・11月 田鶴浜アスロンでローレルハイツ恵寿の施設紹介を23名の方に行いました。
- ・12月 メディカルサロンななおに掲載
ローレルハイツ恵寿の施設紹介を行い地域の方に知って頂きました。
- ・12月 サ高住の入居者交流
8名の入居者と輪島朝市、千枚田等の観光と食事会を行いました。

来院者一覧

月日	見学者	見学内容
2015		
4.14	日本ベーリンガーインゲルハイム（幹部クラス計12名）	恵寿式地域包括ケアシステム
4.27	黒部市民病院（計3名）	初診受付、予約受付
5.01	医療法人社団紫蘭会、医療法人光ヶ丘病院（理事長他、計4名）	恵寿式地域包括ケアシステム、電子カルテシステム
5.16	公益社団法人全日本病院協会 若手経営者育成事業委員会	恵寿式地域包括ケアシステム、本館建築、
	東日本・西日本若手経営者の会（各病院経営者等、計62名）	ローレルハイツ恵寿、情報システム、地域連携
5.02	福島県議会福祉公安委員会（福島県議会議員他、計11名）	恵寿式地域包括ケアシステム、本館建築、地域包括ケア病棟、地域連携
6.09	南砺市民病院（病院長他、計6名）	恵寿式地域包括ケアシステム、地域包括ケア病棟
6.14	専門学校金沢リハビリテーションアカデミー（教員1名含む計18名）	リハビリテーション（PT、OT）
6.16	公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院（技術部部長他、計4名）	給食システム
6.25	医療法人・社会福祉法人緑山会、社会医療法人祐生会（計8名）	恵寿式地域包括ケアシステム、給食システム
6.03	社会医療法人愛仁会、リクルートSUUMO（計10名）	恵寿式地域包括ケアシステム、本館建築、情報システム、和光苑、けいじゅ一本杉
7.09	医療法人社団石鷲会（診療支援部長他、計6名）	恵寿式地域包括ケアシステム、本館建築、人事評価
7.17	第137回医療経営研究会（東京大学大学院教授他、病院経営者等、恵寿式地域包括ケアシステム、本館建築、計21名）	地域連携
7.03	石川県立中央病院（担当者、計7名）	給食システム
7.31	千葉大学大学院 中山茂樹教授	本館建築
8.18	医療法人おもと会（理事長他、計7名）	恵寿式地域包括ケアシステム、情報システム、SPD、福祉用具貸与
8.28	コニカミノルタ株式会社（担当課長他、計11名）	恵寿式地域包括ケアシステム、本館建築、ローレルハイツ恵寿、和光苑
10.06	医療法人大誠会内田病院（理事長、人材研修部長他、計9名）	恵寿式地域包括ケアシステム、地域包括ケア病棟、地域連携、ローレルハイツ恵寿
10.22	JA長野厚生連佐久総合病院（担当者計6名）	給食システム
10.03	第4回全国医療経営士実践研究大会 金沢大会オプションツアー参加者（医療経営士実践研究大会参加者計13名）	恵寿式地域包括ケアシステム
11.05	諏訪中央病院（病院組合長他、計19名）	恵寿式地域包括ケアシステム
11.09	池田美智雄氏（コンサルタント）	恵寿式地域包括ケアシステム
11.19	鵬学園（教諭他、計13名）	恵寿総合病院全般
11.19	行徳総合病院（担当者、計2名）	外来集約によるコスト削減の取り組み、ユニバーサル外来
12.02	東大 渋谷健司教授（東京大学院教授）能登地域医療研究会	学術講演会の際、恵寿総合病院案内ご案内
12.15	公益財団法人仁泉会（担当課長他、計3名）	楽のり君
2016		
1.28	藤元メディカルシステム（管理部長他、計3名）	楽のり君
2.05	社会医療法人 孝仁会（理事長、竹中工務店担当者、計11名）	恵寿式地域包括ケアシステム、建築コンセプト
2.07	厚生労働省看護課（看護課長他、計7名）	恵寿式地域包括ケアシステム
2.18	産総研（フィンランド研究員含む）（フィンランドのVTT国立研究センターとの共同プロジェクト）	和光苑・恵寿総合病院案内後ヒアリング
3.08	日本医科大学 安武正弘教授（臨床研修センター外部委員）	恵寿総合病院案内
3.08	北陸銀行（北陸銀行会長他、計4名）	恵寿総合病院案内
3.09	莫邦富（モーバンフ）氏	メディカルツーリズム
3.18	越後純子先生（虎の門病院）	第1回医療倫理研修会講演の際、ご案内